

令和7年(2025年)4月 青果部 主要品目の市況

	種類	品名	市況の概要	2025年4月 数 量 (トン)	2025年4月 平均単価 (円)	前年同月比 数 量	前年同月比 平均単価
1	野 菜	大 根	茨城県産・千葉県産中心の入荷でした。適度な降雨の影響で、太物中心でした。ですが、他品目の出荷状況に左右され、最終的に数量、平均単価ともにやや減少しました。	591	140	91%	91%
2		キャベツ	神奈川県産・千葉県産・愛知県産中心の入荷でした。中国からの輸入も多く流通しており、数量は減少しましたが、平均単価はかなり安く推移しました。	778	115	81%	79%
3		トマト	九州産・愛知県産・栃木県産中心の入荷でした。数量はやや減少し、平均単価は低く推移しました。	260	380	97%	89%
4		レタス	四国産・九州産が早めに生産終了したこともあり、数量はかなり減少し、平均単価はやや高く推移しました。	221	193	91%	79%
5		馬鈴薯	鹿児島県離島部の長雨により収穫が遅れたため、数量はかなり減少し、平均単価は大幅に増加しました。	210	363	67%	177%
6	果 実	その他柑橘	貯蔵品の甘夏、不知火などの入荷量そのものが昨年を下回った影響で、数量はかなり減少し、平均単価はやや高く推移しました。	211	369	78%	105%
7		りんご	貯蔵量が少ないため、数量は減少しました。平均単価はやや増加しました。	141	469	83%	106%
8		いちご	気温の高低差が激しく、生育が進まないことや過熟果によるロスなどが原因となり、数量は大幅に減少し、平均単価はやや高く推移しました。	124	1,250	73%	102%

【増減基準】

- ①並み、横ばい：(＋)0～2%
- ②やや増加(減少)：(＋)3～10%
- ③増加(減少)：(＋)11～20%
- ④かなり増加(減少)：(＋)21～50%
- ⑤大幅に増加(減少)：(＋)51%以上